2022年　　　月　　　日

日本リスク学会 表彰委員長　殿

**日本リスク学会 グッドプラクティス賞 表彰候補者の推薦**

推薦者 　お名前：

　ご所属：

日本リスク学会 グッドプラクティス賞について、以下の表彰候補者を推薦します。

※ 記入欄は自在に広げてご記入ください。

※ 青字部分は補足説明です。提出時は消去ください。

|  |  |
| --- | --- |
| グッドプラクティス賞の対象として推薦する  活動の名称 | 簡潔な名称としてください（最大で40文字程度）  主に当該年度及びその前年度に行われた活動を対象としています。活動の形態は問いません。  本賞趣旨については、末尾の表彰規程（抜粋）をご参照ください。 |
| 被推薦者となる  個人の氏名  または、  グループ・団体の名称および代表者氏名 | 個人の例：○○○○  グループの例：○○○○有志の会（代表：○○○○）  団体の例：○○株式会社○○事業部（代表：○○○○）  法人の場合には、法人種別および活動を行っている部署等の名称もご記入ください。また、代表者としては、法人全体の代表者ではなく、推薦対象とする活動を代表する方を挙げてください。 |
| 被推薦者の個人または代表者の  所属および役職 | 日本リスク学会 会員/非会員を問いません。 | |
| （グループ・団体の場合）  代表者の役割 | 簡潔な記述で結構です。 | |
| 活動の概要 | 200文字程度で簡潔に記述してください。  可能であれば、活動内容が分かるWebサイトのURL等を記入してください（当該Webサイトのどこに着目すればよいかも記述してください）。簡潔な補足資料をPDFにてお送りいただいても結構です。 |
| 活動の時期 | 本賞の対象は、主に当該年度及びその前年度に行われた活動です。 |
| 推薦理由 | 推薦理由には、以下の点を含めるようにお願いします。  ・当該活動のどのような点を「リスク学の社会実装や普及」に貢献するものと考えるか。  ・どのように「顕著」であると考えるか（例えば、社会的な重要性、広がり、波及効果、迅速性・適時性などの観点から、具体的に記述してください）。 |

送付先：日本リスク学会表彰委員会担当理事 蒲生昌志（masashi-gamo@aist.go.jp）宛に、メールの添付ファイルでご送付ください。

締め切り：2022年9月2日（金）

【表彰規程（抜粋）】

第13条　日本リスク学会グッドプラクティス賞の授与対象者は、リスク学の社会実装や普及にかかる顕著な実践的活動を行った個人、グループ、団体とする。会員、非会員を問わない。

　　２　　日本リスク学会グッドプラクティス賞の授与対象者として、毎年若干名、若干数を選考する。ただし該当者がいない場合にあっては、授与対象者なしとすることができる。

　　３　　主に当該年度及びその前年度に行われた活動を対象とし、活動の形態を問わず、リスク学の社会実装や普及の観点から総合的に判断する。

第15条　表彰委員会は、日本リスク学会賞および日本リスク学会奨励賞および日本リスク 学会グッドプラクティス賞の授与対象者の選考に先立ち、学会員から候補者の推薦を公募 するものとする。

　　２　　学会員からの推薦の公募は、学会誌、学会ホームページ、学会メールニュース 等の通信手段を通じて幅広く行う。

　　３　　表彰候補者を推薦しようとする会員は、公募に際して示される所定の書式によって表彰委員長あてに提出する。

※ 自薦も受け付けます。

※ 以前あった「ただし、推薦対象者の直属の上司または指導教員が推薦者となる場合には、他に1名の第三者たる推薦者の推薦を必要とするものとする。」の規定は、2022年1月31日の改訂で廃止されました。